佐藤靖子
Yasuko Sato
INTERVIEW 5

広報について学び、情報交換する場と仲間をつくる

興味のあることに１歩進むことでやりたいことが見えてきますよ！

現職に就いた当初は、主に会社のホームページ制作のためでした。名刺をつくるとき肩書きを「広報」にしたことから、広報ウーマンとしてのキャリアがスタート。これまでの経験から広告の仕事についてイメージはできていましたが、正直なところ広報は何をしていいのかわかりませんでした。広報の仕事は、自社の商品や会社の情報を外部に発信する活動で、営業は数字で結果は見えてきますが、広報は成果がわかりにくいんですよね。はじめの頃は、テレビ局や新聞社に取り上げてもらうため、プレスリリースを作成し、手当たり次第に電話や郵送したこともあります。

もっと広報について勉強したいと考えるようになり、出会ったのが「広報ウーマンネット」。拠点は東京で全国に支部を展開していて、思い切って北海道支部を立ち上げ、同志を募って勉強会や情報交換をしています。社外の人との交流も増え、ステキな生き方をしている女性と知り合うこともあり、いい刺激も与えてもらえます。興味のある方は、広報ウーマンネット北海道のホームページから（http://prwoman-hokkaido.com）ご連絡ください。

PROFILE

1977年、札幌市生まれ。印刷、広告、写真撮影、ホームページ作成などのキャリアを積み、自信を持って勧められるものを宣伝したいと、棟晶㈱の広報に。パッシブハウスジャパン北海道エリア（道央・道南）リーダーであり、広報ウーマンネット北海道の代表も務める。
棟晶㈱のホームページ　http://t-syou.com

現在の仕事（活動）とやりがい

札幌の工務店、棟晶（株）の広報を担当しています。仕事内容はweb運営、イベントやセミナー企画・運営、写真撮影、チラシや営業ツールの制作、プレスリリース作成、お客さまへのサービスの企画などで、お客さまからの反響があったときにやりがいを感じます。本年度より弊社が所属する団体パッシブハウスジャパンの北海道（道央・道南）エリアリーダーに任命されました。プライベートでは、広報に関する勉強会やセミナーなどを企画・運営しています。

女性が活躍する上で、不足していること

女性だから、男性だからと、決めつけるような見方がなくなればいいと感じます。社会人になりたてのとき、女性だから一般事務、男性だから総合職と、決めつけられている感じが嫌でした。例えば、お客さまにお茶を出すのは男性でもできますよね。もしかしたらお茶を淹れるのが上手な男性がいるかもしれないし、一般事務が得意な男性もいるかもしれない。男性だからこそできる職業もありますが、お互いが良いところを認め合える社会になったらいいですね。

❶いつかマイホームを建てたいママ向けのセミナーで講師を務めることもある
❷お客さまのために「棟晶OB様専用 ポイントカード」制度をスタート。ポイントに応じてリフォームなどができる
❸パッシブハウスジャパンの仕事で出張もしばしば。写真は秋田県の国登録有形文化財「旧料亭金勇」にて
❹広報ウーマンネット北海道のホームページ(http://prwoman-hokkaido.com)も作成している

ライフ年表

- **20歳** 短大卒業後、大手農薬メーカー入社
- **24歳** 退職して6ヶ月イギリスへ
- **25歳** 帰国。ホテルで専属のブライダルカメラマン、印刷会社で提案営業、web制作等を経験
- **34歳** 現在の会社に入社
- **36歳** 広報ウーマンネット北海道設立

キャリアでの忘れられないエピソード

印刷会社で提案営業していたとき、お花屋さんに「母の日に配るチラシの効果を高めたい」と相談され、チラシではなくフリーペーパーの広告を提案し、自分の売上げは低くなりましたが、「売上げが倍になったよ！」とよろこんでいただき、うれしかったです。広告っておもしろい！と感じました。そして、この経験が広報戦略に興味を持つきっかけにもなりました。

仕事と家庭の両立で工夫していること

頭の中を切り替えるようにしています。仕事のときは仕事、プライベートな時間はプライベートに集中する。携帯電話も2台持っていて、お休みのときは仕事の電話はほとんど見ていません。

プライベート(休日など)の過ごし方

以前はライブに行ったり、夏はテニス、海で焼き肉したり、冬はスノーボードしたりと活動的でしたが、最近はかなりインドア生活です。家でお酒を飲んだり、ゲームしたり(笑)。疲れたな〜と感じたらスーパー銭湯に行く程度。インドアすぎるので、何か趣味が欲しいと思うこの頃です。
ずっと続けているのは頭の中を整理したいときは、カフェに行くこと。ボーッとしながら、頭の中でごちゃごちゃになっているものを書き出すとスッキリします。

女性が活躍することについての意義

結婚・出産は人生のキャリアとしていかせる場があると思います。当社の場合、子育て経験があると、子育て世代の家づくりに経験を役立てられます。子育ても立派なキャリアのひとつ。それに買い物の決定権を持つのは多くの場合、女性。そこだけ見ても女性の意見を取り入れる意義、女性が活躍できる場所ってありますよね。むしろ女性のパワーは必須じゃないでしょうか。

将来の展望・目標

目下の目標に突き進むタイプなので、今担当している仕事を一つひとつ丁寧に進めていきたいです。あと、ゆくゆくは出産して、子育てしながら働きたいですね。制度に甘えることなく、そのための環境づくりを整えていきたいです。

後輩女性へのメッセージ

学生の頃「これがやりたい！」はありませんでした。幼なじみの友人は小学生のときから「看護師になる」と決めており、一直線に進む彼女を見て焦りを感じたこともあります。短大の頃、就職氷河期で周囲が就職活動をしていても、自分はやりたいものがなく、とりあえず就職。わたしの場合、働いた後にやりたいことが見つかりました。興味のある方向に1歩進むだけで、道が見えることもあります。何かしたいと思ったら、まずは1歩進んでみてください。ゼロとイチって、全然違う。見える景色がきっと違いますよ。